

# 関係各位 第451回 早朝講演会

昨年、関西経済は、生産や消費が好調に推移し、緩やかな改善が続きました。一方で、大阪北部地震や相次いだ台風による自然災害に見舞われた一年ともなりました。そのような中、近畿地区の景気の現状は「緩やかな拡大が続いている」との総括判断が、今年4月においても維持されました。背景として、①訪日外国人客(インバウンド)消費と輸出・生産が牽引力を維持している、②内需の改善基調が維持されていることなどが挙げられています。

2025年万博の経済効果について、講師は「施設など建設投資増加による直接効果に加え、来場者を見据えたホテル建設など関連投資も見込まれる。商業施設、交通インフラの整備などが期待される」と幅広い効果が及ぶとの認識を示されています。

心配な面としては、「関西は、他府県に比べて、消費激戦区であり、消費については、厳しい状況である」こと。また、関西の金融界では今年4月に地銀3行が経営統合して関西みらいフィナンシャルグループ(FG)が発足するなど、再編が進んでいますが、「関西の競合の厳しさは全国有数」と講師は指摘されます。業績の改善を見込めない地銀は、他地域の地銀も含む提携で打開を図る再編も予想される状況となっています。

日本銀行の歴史・概要、世界経済の状況を踏まえ、関西経済の現状と展望についてご講演いただきます。

講師：日本銀行理事大阪支店長 山田 泰弘 氏

テーマ：『 関西経済の現状と展望 』

●開催日時：2019年5月29日(水) 午前8時00分～9時30分

朝食：午前8時00分～

講演：午前8時30分～9時30分

●開催場所：大阪第一ホテル(大阪マルビル6F)

●開催場所：会員・初参加の方 5,000円、2回目のビジター6,000円

(当日のキャンセルはキャンセル料を申し受けますので、ご了承下さい)

2019年4月吉日 NPO法人SKC企振連・船場経済倶楽部

早朝会運営委員会

キリトリ

出欠用紙

FAX 06-6261-6539

事務局 宛

5月29日(水)

早朝会に

参加

(名)

不参加

氏名

役職

会社名

TEL

FAX